

『今日の博物館・美術館めぐり3』 【刀剣博物館】

T・T

今日は、朝から天気も良く何処かへ出かけようと思いパソコンで地図を見ていると東京江戸博物館や両国国技館の傍に【刀剣博物館】が目に入り、更に調べると全国から国宝級のものや、重要刀剣の展示開催中とあり早速出かけることにしました。



3階が展示室で、平安時代末期から江戸時代末期の物まで全部で35振りが出品してありました。

日本刀は太刀(60cm以上で刃を下にさす)

刀(60cm以上で刃を上をさす)、脇差、短刀の種類に分けられ形状は室町時代より工芸品の傾向があり特に綺麗な刃文が入った備前国(岡山県)山城国(京都府)、大和国(奈良県)、相模国(神奈川県)、美濃国(岐阜県)が五大生産国で各名工が腕を競いました。



『備前長船』

夫々の刀を見て行くと時代劇に出てくる刀の幅よりかなり細いのにには驚きましたが鎌倉時代から室町時代、江戸時代初期まで戦場で使うので軽く細身なのが必然だったでしょう。



展示品の刀は自分の顔が映りそうに研ぎ澄まされ長さ70~75cmあり、全部見て行くと真剣ならではの迫りに圧倒されました。帰り際、1階のビデオで現代の刀鍛冶による伝統の『たたら製法』で日本刀を作るのを見て1000年以上に渡る伝統技法を永久に残したい思いにかられました。



『現代のたたら製法』